

令和3年度第1回林業アカデミーふくしま運営会議における主な御意見と対応（案）について

No	項目	意見等（要約）	対応（案）	該当資料	備考
1	短期研修	チェーンソー伐木造材技術について、網羅的な内容ではなく、ある項目に特化した短期集中の研修とすべきでは。	チェーンソー伐木造材技術については、安全な伐木造材等を指導できる技術者を育成する講座とします。	資料4	五十嵐委員
2	短期研修	チェーンソー伐木造材技術について、目的に記載の「指導者を育成」するためには、「教え方」を学ぶ研修とすべき。	チェーンソー伐木造材技術については、安全な伐木造材等を指導できる技術者を育成する講座とします。	資料4	藤野委員
3	短期研修	対象者に参加してもらえるような仕掛けが重要。例えば、市町村向け研修では、話題性のある内容を入口にして、それと関連付けながら普遍的な内容の説明に入るというのはどうか。	研修実施の際、内容を工夫しながら対応していきます。	—	飯沼委員
4	短期研修	年間実施計画周知の際には、他の団体等が実施している研修も含め情報をまとめて周知してもらいたい。（可能であれば）	他団体等と調整し、今後対応可否を検討します。	—	藤野委員
5	短期研修	「提案型集約化施業実践」の対象者について、森林施業プランナーを目指す者と森林施業プランナー両方を対象とするのは難しいのではないか。	基本的に「森林施業プランナーを目指す者」を対象として実施することとし、実施計画を修正します。	資料4	田坂委員
6	短期研修	毎年度研修の内容を変えていくことが重要。	受講生のアンケート結果等も踏まえながら対応していきます。なお、今後林業事業体等を対象とした方部別の説明会を予定しており、その場も活用しながら要望を把握し、最終的な講座内容を検討する予定です。	資料1	平子委員 遠藤委員
7	短期研修	研修の定員は研修内容等に応じ適正に設定すべき。	各講座の定員については、座学講座でのグループワーク班分け、現場実習での講師の指導体制や研修生の安全確保、研修機材配備状況等を踏まえ、再度整理しました。	資料4	遠藤委員
8	短期研修	令和4年度の研修内容については、令和3年度研修の参加状況や受講生のアンケート結果を踏まえ、受講生が求めている魅力あるものとしなければならない。	集計作業が完了している講座のアンケート結果は資料1のとおりです。グループ演習や実習を取り入れたものの評価が高い傾向が読み取れることから、研修内容検討の参考にしていきます。	資料1	安田委員 (後日提出)

令和3年度第1回林業アカデミーふくしま運営会議における主な御意見と対応（案）について

No	項目	意見等（要約）	対応（案）	該当資料	備考
9	長期研修	シラバスに記載の「評価方法と基準」の考え方等を整理すべき。	評価方法と基準については、資料のとおり考え方を整理し、検討を進めたいと考えております。なお、検討結果については第3回会議でお示しする予定です。	資料5 添付資料（4）	須藤委員 松本委員
10	長期研修	評価方法について、細目ごとの個別の評価ではなく総合的に評価する仕組みの方が運用上も楽である。	資料に記載のとおり、基本的に科目ごと等評価単位を大括り化した総合評価にしたいと考えております。	資料5 添付資料（4）	藤野委員 （後日提出）
11	長期研修	細目ごとに研修生からアンケートをとる等、研修生が研修内容を評価できる仕組みを作るべき。	研修実施にあたっては、アンケート等により研修内容に対する研修生の評価を把握し、カリキュラム等改善につなげていきます。	—	田坂委員
12	長期研修	シラバスA-1-ウ「林業の道具」について、実際の内容は刃物に限定するような内容になっている。内容を限定せずに、タイトルに即して林業機械等も含めた内容にした方が良いのではないか。	チェーンソー等林業機械は別途研修科目があるため、本シラバスでは林業で基本的に用いられる手道具について理解を深めることとし、内容は現行のままにしたいと考えております。なお、細目名称を「林業の手道具」に修正します。	資料5 添付資料（1）、（3）	飯沼委員
13	長期研修	シラバスA-1-ウ「林業の道具」について、原案どおりで問題ないと考える。細目名を「林業の手道具」としても良いのでは。	本シラバスの内容は現行のままにしたいと考えております。なお、細目名称を「林業の手道具」に修正します。	資料5 添付資料（1）、（3）	藤野委員 （後日提出）
14	長期研修	シラバスA-1-オ「森林計画制度」などは、その制度が出来た背景から入るような講義内容にすると初めての人も理解が深まるのでは。	本シラバスについては、「森林法と林業政策」と統合し、「森林・林業政策」として制度の背景等も含めて講義することとします。	資料5 添付資料（3）No.4	飯沼委員
15	長期研修	カリキュラムが総花的すぎる。現場作業と森林経営管理向けの内容がどちらも同じ分量あり、1年で習得させるのは困難。	御意見を踏まえ、シラバス等の内容を修正しました。	資料5	藤野委員 松本委員
16	長期研修	12月以降の実習などは3時くらいまでしかできないと考えられるが、フルに実習が入っているなど、全体的に無理があるカリキュラム。	御意見を踏まえ、12月以降の屋外で行う実習に関しては6時限までとしました。	資料5 添付資料（2）	藤野委員

令和3年度第1回林業アカデミーふくしま運営会議における主な御意見と対応（案）について

No	項目	意見等（要約）	対応（案）	該当資料	備考
17	長期研修	林業アカデミーふくしまの特色を資料などで全面に出しPRしてもらいたい。	御意見を踏まえ、林業アカデミーふくしまの特色を整理し、これに合わせて研修内容を見直しました。 資料3の内容については、今後PRの際にも活用していきます。	資料3	藤野委員
18	長期研修	「人材」を「人財」としたことによるカリキュラムの考え方や内容を整理すべき。	現場作業に必要な内容のみならず、森林・林業に関する幅広い知識を学ぶためのカリキュラムが「人財」の育成につながると考えております。	資料5	遠藤委員
19	長期研修	事業体によって求める人材が異なると思うので、それにマッチしたカリキュラム内容とすべき。	長期研修については現場作業に必要な内容に重点を置くこととしますが、森林・林業に関する幅広い知識も学んでもらい、「人財」を育成していきたいと考えております。	資料5	田子委員
20	長期研修	実習成果を上げるため、フォローアップ（復習）の時間を設けてはどうか。	御意見を踏まえ、各種訓練機器等を活用した繰り返しの実習や、自己啓発（自主学習）の時間を新たに設けました。	資料5 添付資料（2）	安田委員 （後日提出）
21	長期研修	受講生が希望するカリキュラムに応えるため、一部のカリキュラムを選択できるようにしてはどうか。	御意見を踏まえ、各種訓練機器等を活用した実習では、班分けによる選択実習を行う時間を設けることとしました。 （2月20日～3月3日の実習 等）	資料5 添付資料（2）	安田委員 （後日提出）
22	長期研修	シラバスA-6-ア「林業経営の基礎」について、座学が10時間設定されているが、2時間で十分。経営者を目指す学生には、林業会社の社長の話を聞かせるのが有効。また、篤林家のところに行き、森を見て話しを聞く時間を増やしてほしい。現場に出てしまうと森林所有者に会う機会がほとんどない。	御意見を踏まえ、シラバスを修正しました。 なお、「林家への聞き取りまたは現地視察」の時限数を増やしました。	資料5 添付資料（3）No.20	藤野委員 （後日提出）
23	長期研修	シラバスA-6-イ「森林経営計画」について、「提案型集約化施業の基礎」、「森林施業プランナーの業務」で計6時間あれば十分。1年間という短い期間で現場で活躍する人材を育成するため、細かい事務仕事を教える必要はない。	御意見を踏まえ、時限数を修正するとともに、シラバスA-6-ウ「現場管理」と統合しました。	資料5 添付資料（3）No.21	藤野委員 （後日提出）

令和3年度第1回林業アカデミーふくしま運営会議における主な御意見と対応（案）について

No	項目	意見等（要約）	対応（案）	該当資料	備考
24	長期研修	シラバスA-6-ウ「現場管理」について、初心者向けには「現場でかかる費用」「森林施業の収支」で計4時間で十分。「先進的林業経営体の視察」は有効だが、他の視察メニューとの調整を。	御意見を踏まえ、時限数を修正するとともに、「現場管理の基礎」としました。 なお、「先進的林業経営体の視察」については、シラバスNo.2「林業の仕事」やNo.20「林業経営の基礎」で対応します。	資料5 添付資料 (3) No.21他	藤野委員 (後日提出)
25	長期研修	シラバスA-7「最先端林業技術」について、学生の好みはかなり分かれるので、好きなものを触れる自習時間を設ける方が良いのでは。	講義内容を明確にするため、本シラバスについてはNo.22「林業ICTと森林GISの基礎」～No.25「ハーベスタシミュレータートレーニング」に細分化しました。 また、2/20～3/3にかけて班分けによる選択実習を行う時間を設けるとともに、No.56「社会人教養」に新たに「自己啓発」（自主学习）の時間を設けました。 自己啓発の時間で各種機器の使用要望があれば、対応していく予定です。	資料5 添付資料 (3) 各項	藤野委員 (後日提出)
26	長期研修	シラバスB-3-ウ「素材生産総合技術」について、座学はあっても良いと思うが、実習は不要。作業システムに関する固定観念を生み出してしまう。	御意見を踏まえ、シラバスを修正しました。	資料5 添付資料 (3) No.34	藤野委員 (後日提出)
27	長期研修	シラバスD-2-イ「社会人教養」に、所得税や社会保険の講義を1時間追加して欲しい。求人票を見るとき参考になる。	御意見を踏まえ、「社会人教養」に「所得と税金」の講義内容を追加しました。	資料5 添付資料 (3) No.56	藤野委員 (後日提出)
28	長期研修	時限数を削減した分は研修生の自習時間にして、機器を活用した練習等選択できるようにすべき。	御意見を踏まえ、機器を使用した班分けによる選択実習を行う時間を設けるとともに、自己啓発（自主学习）の時間を設けました。 自己啓発の時間で各種機器の使用要望があれば、対応していく予定です。	資料5 添付資料 (3) 各項	藤野委員 (後日提出)
29	長期研修	屋外実習の日に雨の場合はその日の実習をどうするか教えてほしい。	実習棟で行う実習や座学講義等との入れ替えにより対応していく予定です。	—	藤野委員 (後日提出)
30	その他	次回からリモートでも会議に出席できるよう検討したい。	次回会議以降対応します。	—	藤野委員

令和3年度第1回林業アカデミーふくしま運営会議における主な御意見と対応（案）について

No	項目	意見等（要約）	対応（案）	該当資料	備考
31	その他	<p>緑の雇用を受けられない規模の小さい事業体に対しても、新規就業者を雇用した場合に給与の一部を助成するといった支援策を講じてもらいたい。</p>	<p>緑の雇用事業を活用できるよう、認定林業事業体の認定を受けるための支援等を行ってまいりたいと考えております。</p>	—	五十嵐委員
32	その他	<p>長期研修の場合、1年間という限られた時間の中で、林業への志を持った研修生の学習意欲を満たし、かつ、現場において即戦力となる林業人の育成を大変期待しているが、その実現には、「林業アカデミーふくしま」の全ての部分の本気度を試される。</p> <p>1、本気で、即戦力の人財を育成するための体制が整っているのか 2、本気で、育てる気があるのか 3、本気で、教える気があるのか 4、本気で、雇用に結び付ける気があるのか</p> <p>先進事例を参考の上、育て方、学ばせ方、雇用への結びつかせ方等を収集し、それを実現できる体制を充実させてほしい。</p>	<p>林業アカデミーふくしまの検討にあたっては、これまでも他県事例等を収集し、本運営会議の前身組織である林業人材育成機能検討会での御意見等も踏まえ、体制構築を進めてきたところです。</p> <p>また、今年度からは、県林業研究センターに専任部署を設け、短期研修の実施とともに、長期研修生確保に向けた県内各高校等への周知活動や相談会の実施及び専用相談窓口の開設等取り組んでいるところです。今後は林業事業者等への周知活動として方部別意見交換会の実施も予定しており、本運営会議の意見と併せて研修内容のさらなる磨き上げを図ってまいりたいと考えております。</p> <p>来年度以降は、専任部署の人員増等、さらなる運営体制の充実を図れるよう、調整を進めてまいります。</p> <p>なお、「雇用に結び付ける」点に関し、他県事例収集の結果、インターンシップが重要な役割を担うことになると考えております。今後、運営会議での御意見も頂戴しながら、本県独自のインターンシップ体制を検討する予定です。</p>	—	田子委員 (後日提出)